

「一つの文に動詞は一つ、二つ目以降は形合わせ」を自分のものにせよ。

- ・ -ing か、-ed/en か、それとも？

動画と静止画

1. A *drowning* man will clutch at a straw.

※「動画」の -ing。まだ「溺死」してはいないので注意。「溺死した」「水死した」のであれば、完了で *drowned* となる。

2. His girlfriend *kept standing* at the fence.

※「立っている」という動きが感じにくいけれども、「動画」の -ing。keep という動詞で匂いを感じよ。

3. I *saw* her *standing* there.

※<彼女が stand している>という「映像」を捉えること。「立ち上がる場所」ではなく、「立っているところ」を見たという「動画」の-ing。いつ初めて、いつ終わるかは不問。

4. His mother *was* sitting in a sofa in the living room, *with her eyes closed*.

※「静止画」の -ed/en 形。これを -ing にすると、一般的には「反復」か「スローモーション再生」。

5. She *said* good-bye to her boyfriend, *with tears rolling down her cheeks*.

※「動画」の -ing 形。「涙が roll down している」。この「付帯状況」の分詞が、-ing になるか、-ed/en になるか、を(X)「主語の意志が名詞に及ぶか否か」などという基準で考えてはダメ。

能動と受動

6. That was *a very shocking accident*.

※「驚きの矢」を放つ側か、受ける側か？「驚きビーム」を出す側か、当てられる側か？

7. Have you ever *seen* a portrait *painted by* Pablo Picasso? (以上『ランドマーク』)

※ここでは「受け身」だけれど、文全体が過去の事実に言及していれば、当然「完了」は含意される。

8. There are *broken* toys all over the floor. (Basic English Usage)

※いくら「受け身」でも、普通の日本語なら「壊れたおもちゃ」と言っているはず。

9. A *watched* pot never boils.

※「待つ身は長い」ということわざの一つ。ここでは「受け身」だけれど、文全体が今の出来事に言及していれば、「現在進行中」は含意される。

- ・ いわゆる分詞構文→副詞か形容詞か？ どうでもいいのか？

10. *Putting* down my newspaper, I walked over to the window.

※見て分かるように、主節の主語は “I” であるから、分詞で表された内容を関係詞節のような読みで I に掛けるのには無理がある。非制限用法的な読みをするなら、分詞は「原因」や理由と取らなければ意味が整合しない。川端康成の『美しい日本の私』、大江健三郎の『あいまいな日本の私』という形容・修飾は、日本語であっても極めて例外的なものはず。そのつもりで以下の用例を吟味すること。

11. I sat *reading* some old letters.

12. Not *knowing* what to do, I telephoned the police.

13. *It* rained all the time completely *ruining* our holiday. (以上、Basic English Usage)

※ここでは、“ruin” の意味上の主語にあたるものは、“it” ではなく、「雨が降り続いたこと」とでもなるはずであり、雨が降ってくれなければ整合しない意味なので、*ruining* を *it* に対する形容詞的な修飾語として (X) 「私たちの休日を台無しにした雨は…」と考えることには明らかに無理がある。

14. *Moved* by the sight from the mountain top, I became speechless. (『ランドマーク』改変)

※いきなり過去形で始まる文はない。イントロの-ed/en 形は、どこに繋がるか？

音調・間が大事

文を始めたら、続けている間は「続いていますよ、まだ先がありますよ」オーラを放ち、そして終わるときには終わる気配を漂わせてから終わることが大切。

15. *Having lost* my smart phone, I *had* a hard time getting in touch with some of my old friends.

※イントロになる -ing が「大関」。そこから主節への移り変わりで、「音調」を適切に表現できているか？

16. *Having lost* my smart phone *cost* me another fifty thousand yen.

※15. と同様イントロかと思いきや、閉じカッコが先に。

※「あれ？」と思った時に、仕切り直しできるのが「学力」です。

※「時制が決まればとじカッコ」。「ワニの口」の-ing は、尻尾の確認を！